



# 楽々亭通信

第 45 号  
令和6年7月1日号

発行：NPO法人没イチの会・京都

## 6月の楽々亭を 開催いたしました

「近道すれば 南無の  
ひと声」

本願寺派布教使

安堂芳雅

こんにちは、安堂です。  
いつも楽々亭通信の原稿は、締切日にしか仕上げられないのですが、今号は一週間も早く書き上げることができました。  
それはなぜかと申しますと、実に単純です。  
六月に入って急に暑くなり、あまりの暑さにととう、エアコンを入れたかなのです。

これまで電気代を節約しようと団扇で暑さを凌いでいたのですが、もう我慢できる暑さではありませぬ、ついに、エアコンのスイッチを入れてしま



ました。

そして、こうなったら、電気代相当には頑張らなくてはいけません！とちん坊なら、また実際、快適な環境のおかげもあって、編集の北口さんがびつくりされるだろう日に、原稿を送ることができたのです。

さらに「私がこんなに早く仕上げられるなんて！やればできるじゃないか。」という達成感のおまけまでついてきました。この暑さと、エアコンに感謝です。

さて、今月は「極楽浄土」について、面白い逸話をみつけましたのでご紹介いたします。

極楽浄土は、ここから

「十万億仏土」離れたところにあるとお経には説かれています。

十万億仏土とは、十億億の仏さまの世界を超えたところということですから、はるか彼方どころの距離ではありません。

本願寺八代目のご住職、蓮如さまと、トンチで有名な一休さんは大の仲良しだったそうです。

一休さんは蓮如さまより二十一年歳上で、臨済宗のお坊さまでしたが、浄土真宗のみ教えを敬っておられましたので、お二人はよくお会いだったのでしよう。

ある日、一休さんが蓮如さまにこんな歌を詠まれました。

「極楽は 十万億土と説くなれば 足腰立たぬ婆はいけまじ」

すると、蓮如さまはこう読み返されます。

「極楽は 十万億土と

説くなれど 近道すれば南無のひと声」

一休さんが皮肉たつぷりに、「お浄土はずいぶん遠いところにあると聞くので、足腰が立たなくなつたお年寄りにはとても参れませぬ。だとすると、一切衆生をすくうという、阿弥陀如来のお誓いは、果たされないのではないですか。」と言われたのに対して、

蓮如さまは、「自らの足で参るお浄土であればゆけぬ者もあるかもしれませぬが、阿弥陀さまのおすくいには、往けぬ者に南無阿弥陀仏と至り届いて下さつてあるのですから、往けぬ私のまま抱きとられて、お浄土に参らせていただくことができます。」と読み返されます。

私は一休さんの「そんなに遠いお浄土なら、足腰が立たなくなつたお年寄り

には行けないですね」というお歌に、「ご遺体と一緒に棺に杖を入れる他宗派の納棺を思い出します。

私が自分の力で歩むなら、十万億仏土という彼方のお浄土へはとてむ行くことはできないでしょう。そもそも、すくわれる術を何一つ持ち合わせていない、私たちはどうあつてもお浄土に行くことはできないのです。

しかし、その往けぬ者を、阿弥陀さまの方から「そのまま引き受けた、必ず浄土に連れ帰る」と説いて下さっているのが南無阿弥陀仏のお念仏です。今、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏とお念仏申すそのまま、阿弥陀さまに抱かれて参るお浄土への道中です。

もうすでに、私の往生は阿弥陀さまの方でお約束されているのですから、

大きな安心の中でお念仏に照らされた日暮らしを歩ませていただきたいものであります。

「近道すれば南無のひとつ声」  
南無阿弥陀仏の阿弥陀さまに、  
おまかせ、おまかせ。



どんぐりは生き残れるのか？

最近新聞やテレビで熊が人里に出て来て被害を及ぼしているとの記事が散見されますが、どんぐりなどのクマにとって食料が不足して人里に出て来るのでしょうか？ある植物学者の方の書いた記事を読むと、ドンクリは種子（実）を落として自分の子孫を繋いでいるわけですが、多くの動物に食べられると、例えば熊だけではなくリスなど小動

物たちですが、食べ尽くすほどの多くの動物が生まれるとどんぐりにとっては死活問題になるわけですね。そこで、3年とか4年に一度わざと不作な年を作るそうです。そうすると動物たちは食べ物がなくなり、その数が少なくなっていくと、その数が少なくなり、地上でどんぐりの木が育って来るそうです。

そのように森の生体系は保たれて行くのだそうですが、熊は大変ですね。食べ物がなくなり、人間の生活範囲に入ってきて、食べ物を採すのですね。動物たちも、どんぐりも自分の子孫を増やすのに必死になって努力しているのですが、人間はどうでしょうか？

少子化がさがわがれて十数年たちますが、結婚しない、子供を産まない少子化は国を細めてしましますので大変な問題ですが、解決は難しいようです。日本政府はお金がないので子供を産まないのだろうと、いろいろ手当を考えていますが、本当にそうでしょうか。お金がないから産

まないのでしょうか？であればアフリカの貧困家庭の子沢山はどのように説明しますか。日本の戦後の貧乏人の子沢山はどのように説明するのでしょうか？

籠谷 弘



### 楽々亭 7月の予定

7月16日（火）

西京区役所洛西支所会議室

午後1時30分～ 3時30

6月に開催した場所です。

表玄関口から入って下さい。

### 楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。